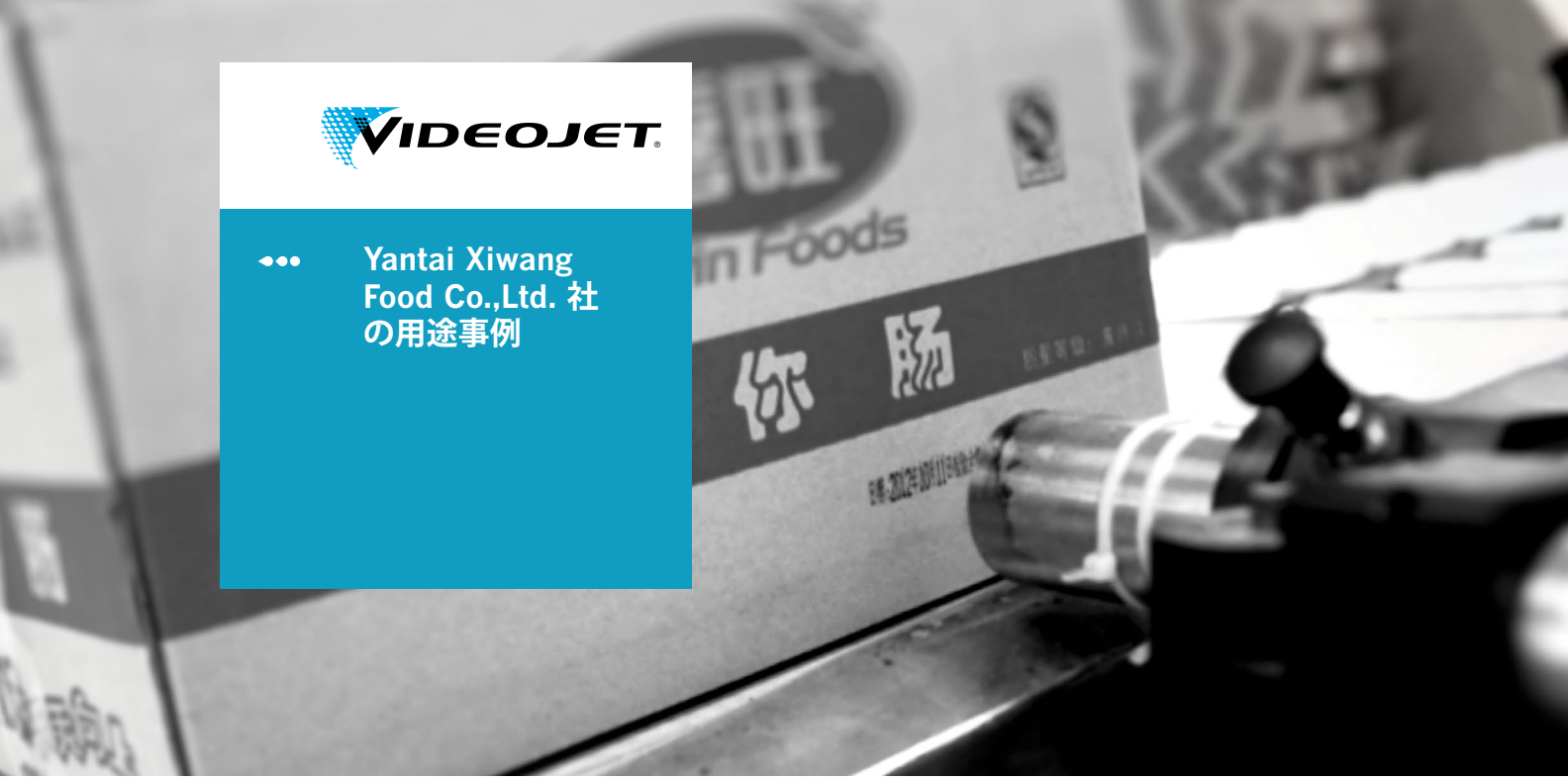


Yantai Xiwang Food Co.,Ltd. 社の用途事例

ビデオジェットプリンタによる Xiwang 社の市場獲得への取り組み

Yantai Xiwang Food Co., Ltd. は 1996 年に設立された中国山東省最大の食肉加工会社で、従業員数は 500 名を超えます。Siwin foods というブランド名で製品を生産しています。Xiwang 社の知名度および評判は高く、「著名な中国ブランド」として認識されており、「中国の食肉加工会社トップ 50 社」にランクされています。

国営企業標準の設定の中心的存在でもあり、「生鮮食肉衛生規則 (Fresh Meat Hygiene Rules)」および「殺菌済食肉製品の品質と安全性に関する要件 (Pasteurized Meat Products Quality and Safety Requirements)」の立案に参画しています。

Xiwang 社は、総生産量および総顧客数の両方において著しい成長を遂げています。現在は、スパイシーな冷凍ソーセージからローストした丸ハムまで、16 種以上の製品を製造しています。同社には 12 の生産ラインがあり、これらを 1 日 10 時間、週 6 日稼働して、週 30万を超える商品を生産しています。

「ビデオジェットは、当社の包装とブランドのイメージ向上に役立つ鮮明で信頼性の高い印字を実現してくれます。」

Yantai Xiwang Food Co., Ltd. 社
製造責任者Deng 氏

難しいコーティングへの印字

Xiwang 社の著しい成長の鍵は、そのユニークな贈答箱および外装にあります。外装に包まれた贈答箱には、豚足煮、豚耳煮、台湾ソーセージなど、地域の美味が詰められています。他の製品はスーパーマーケットやその他の小売店に出荷されますが、これらの贈答箱は消費者に直接出荷されます。地域の規制に準拠し、サプライチェーンのパフォーマンスを向上させるために、各贈答箱には製造日、印字時刻、中国の品質管理合格表示、品質管理担当者の ID が産業用インクジェットプリンタ（小文字用）により印字されています。各贈答箱の外側には特殊な PE コーティングが施されているため、特殊タイプのインクが必要です。

ビデオジェットと提携するまで、Xiwang 社が使用していたプリンタとインクでは、贈答箱に十分に固着しませんでした。このインクは箱を汚すことがあり、印字の可読性が下がります。

Xiwang 社は、コストのかかる返品や販売低下など、低品質の印字によって社のブランドおよび最終収益が被る影響を懸念していました。食肉加工基準に関する業界のパイオニアとして、Xiwang 社は率先して鮮明な印字を導入する必要があります。前述のように、これらの印字品質は Xiwang 設定の厳しい社内基準を満たしておらず、そんな贈答箱を顧客に出荷することは受け入れがたいことでした。

Videojet 1000 シリーズ

Videojet 1000 シリーズは生産ラインをより長く稼働できるように設計されていますが、その一方でマーキングパフォーマンスに対してより高い基準が設定されています。

主な特長：

- CleanFlow™ プリントヘッド技術は、従来のプリンタで停止を引き起こしていたインク詰まりを削減します。これにより、Videojet 1000 シリーズのクリーニング回数が減少し、Xiwang 社ではより長時間の稼働が可能になりました。
- 公表済みの業界最長のメンテナンス間隔により、Xiwang 社ではより長い予防メンテナンス間隔で稼働させて、メンテナンス時間を適切に計画できるようになりました。
- プリンタの先進的なコア部品はお客様側で交換可能です。これにはすべてのインクシステムフィルタと共通の消耗部品が含まれているため、交換するのは 1 つの部品だけで済みます。
- 密閉されたカートリッジによりインクのこぼれや外部からの汚染がなくなり、Smart Cartridge™ 技術によりインクの入れ間違いや無駄がなくなります。
- 簡単プログラミングにより、Xiwang 社の生産オペレータは新規印字の作成や保存された印字の検索をすばやく実行できるため、SKU 間の切り替えが速くなり、エラーも減少しました。
- Videojet 1000 シリーズは、コーティング仕上げなど、印字が難しい表面にも鮮明に印字できます。
- Dynamic Calibration（ダイナミックキャリブレーション）™ により、低温高湿度環境でも均質な印字品質を保ちます。

明瞭なソリューション

贈答箱は会社の成長に重要であるため、Xiwang 社は、贈答箱への固着性に関する問題の解決策を早急に見い出そうと懸命でした。新しいインクとプリンタの組み合わせについて市場を調べ、さまざまな企業のソリューションを検討しました。最終的に Xiwang 社は、Videojet 1000 シリーズと V411 インクの組み合せを選択しました。その理由の 1 つは、贈答箱に対する V411 の性能でした。

Xiwang 社が V411 を使い始めてから、贈答箱への固着性に関する問題は解消されました。Xiwang 社の印字は明瞭で可読性が向上し、今では同社の高い基準を満たしています。V411 は、ビデオジェットのラボで特殊用途向けに設計された何百ものインクの 1 つです。このインクは溶剤型インクで、Xiwang 社のコーティングされた贈答箱のような無孔基質上でも早く乾きます。

プラスチックに最適なインクの 1 つである V411 は PE コーティングが施された贈答箱に大変よく固着します。また、優れた摩擦耐性を持つように設計されています。現在、Xiwang 社の贈答箱には鮮明な印字が固着して、ブランドイメージを伝えています。同社では、顧客からの苦情、返品、売上低下について心配する必要がなくなりました。また、この箱の印字によって、地域の類似の会社に対して模範的な印字の例を示すことができます。

ラインの稼働の維持

さらに Xiwang 社にとって大きな悩みだったのは従来の産業用インクジェットプリンタ（小文字用）の保守でした。オペレータは、プリンタによるトラブルについて日常的に不満を口にしていました。従来のプリンタは、プリントヘッドを毎日清掃しないとノズルがすぐに詰まるので、ラインでは生産を中断するような障害が発生していました。予定外のダウンタイムに加え、これらのプリンタは、比較的短い間隔で予防メンテナンスが必要でした。

予防メンテナンスの際には、プリンタを 1〜2 日オフラインにしなければならないこともあります。予備プリンタがなければ、この期間中ラインを停止しなければなりません。このようなダウンタイムは、Xiwang 社に大きな犠牲をもたらしました。

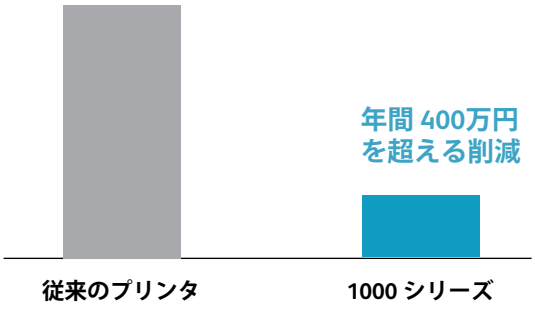
Videojet 1000 シリーズのプリンタ購入で、Xiwang では生産ラインのアップタイムが大幅な増加しました。オペレータは、プリントヘッドを毎日メンテナンスする必要がなくなりました。今では、週に 1 回プリンタを清掃するだけで済みます。

さらに、予防メンテナンス作業の間隔が大幅に延び、Videojet 1000 シリーズのシンプルな設計によって予防メンテナンスに要する合計時間も必要最小限となりました。

「ビデオジェットプリンタは柔軟で鮮明な印字を実現し、保守が簡単です。」

最終収益への影響

1 本の生産ラインの予防メンテナンスに要する年間コスト



Videojet 1000 シリーズで予防メンテナンスが軽減されたことだけでも、Xiwang 社は非常に大きな省力化を実現できました。これには、プリンタ障害の減少による省力化や、プリントヘッドのクリーニングの軽減による省力化は含まれていません。Xiwang 社では、プリンタの予防メンテナンスのために生産ラインを稼働停止しても、15 人のライン作業員にはその空き時間分の賃金を支払います。また、Xiwang 社では外部のメンテナンス会社へ外注しており、作業時間分の支払いが請求されます。そして、Xiwang はこの作業時間中は、さらなる製品は製造できません。

Xiawang およびビデオジェットの今後

Xiwang は最初のビデオジェットプリンタを購入して以降、さらに 6 台のビデオジェットプリンタを追加購入し、今後も 2〜3 台のプリンタの増設を計画しています。Xiwang 社は著名な中国ブランドを創出し、やがては世界規模の有名食品企業グループになるために奮闘しており、このめざましい成長ぶりを持続させることを望んでいます。現在は工場拡張が完了し、今後の増産でさらに新しいプリンタが必要になると考えています。

「私たちは飛躍的成長を望んでいますが、パートナーの支援が必要です。」と、Xiwang の Deng 生産部長は述べています。「成長の実現のためにもビデオジェットとの提携を喜んでいます。」

TEL: **0120-984-602**
E-mail: **info@videojet.co.jp**
URL: **www.videojet.co.jp**

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

©2014 Videojet X-Rite K.K.— All rights reserved.
ビデオジェット・エックスライト株式会社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。20151023